

だれもが  
大切にされる  
三鷹へ

主役は市民

# 野村羊子

のむら  
ようこ

三鷹市議会議員 無所属・市民派 四期

と  
い  
っ  
し  
ょ  
に  
つ  
く  
る  
三  
鷹  
の  
会  
ニ  
ュ  
ー  
ス

野村羊子は「とにかく市民の声を聞くように」と訴え続けている議員です。

- 特に声をあげにくい人や差別されやすい当事者の声に、市政がしっかり耳を傾けるよう主張しています。
- 市民の声を政策に反映するよう働きかけています。
- 市政の動きを市民の視点からチェックして、その都度市民に情報提供をしています。

## 野村羊子プロフィール

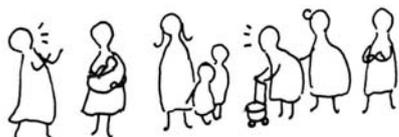
1957年生まれ。  
北海道札幌市で育つ。明治学院大学卒業後、福祉施設に7年間勤務し、自閉症児と共に暮らす。  
1988年：絵本と木のおもちゃの店「プーの森」を吉祥寺に開店。  
1993年：三鷹市下連雀に移転し、以降30年三鷹に暮らす。  
2007年：三鷹市議会議員となり、現在4期目。

三鷹市はあなたの暮らしに寄り添っていますか？ 市の予算をどこに、どの順番で誰のために使っていくのが市民のためになるのでしょうか。あなたの声を聞かせてください。

市民が  
信頼できる  
議員



きつちり調べてる！  
あきらめない！



〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-33-7-401  
[TEL/FAX] 0422-72-2425  
[E-mail] [issyonokai@nomura-yoko.net](mailto:issyonokai@nomura-yoko.net)  
[URL] [nomura-yoko.net](http://nomura-yoko.net)  
[Twitter] [\[hitujinomura\]](https://twitter.com/hitujinomura)を検索  
郵便振替口座 00160-2-335606  
加入者名「野村羊子ととっしょにつくる三鷹の会」



# 身近に感じる議員、野村羊子のうごきMAP (2019-2023)

粘り強く問題提起をしつづける野村は今も動き続けています！野村羊子の活動は具体的で長期的な課題が多く、多岐にわたりますが、その活動のペースは「人権」です。

## 東京外環道

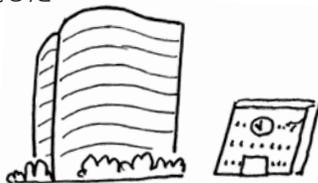
調布・陥没事故による被害住民のみなさんの声を拾いつつ、三鷹市でも同じことが起きないように問題点を指摘し続けています。



粘り強く問題提起をし続ける

## 街づくり

「新都市再生ビジョン(仮称)」が進む一方、後回しにされている老朽化した小中学校の改修や建替の必要性を訴えています。



## 人権



### ヤングケアラー

いち早くヤングケアラーの問題意識を議会に挙げ、支援が必要だということを明らかにしました。

### 女性や性の多様性について

議会において女性リーダー養成、同性パートナーシップ制度についての提案、ジェンダーギャップ解消への問題提起などを行っています。



### コロナ禍における対応

国からおりてきた補正予算の使い方が市民に明確に見えるように、毎回しつこく議案質疑をやりつづけているのは野村羊子だけです。

## 原発・気候危機

原発反対運動や再生可能エネルギーの普及活動をしている市民とつながり、気候危機に対する対策が必要だと訴え続けています。



議会

市民感覚で物事を見る

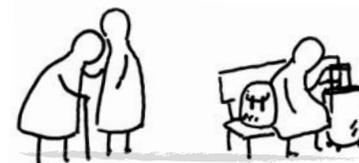


野村作「質疑のための補正予算の集計データ」はこちら →



### コロナワクチンの副反応被害について

野村は、副反応被害の現実を市民に情報提供するよう求め、ワクチン接種も強制ではないことを確認し続けています。



### 人権条例を作る動きについて

三鷹市では、現在「人権条例」を作ろうとしているのをご存知ですか？野村は、人権が守られにくい立場の人たちの声が反映されるよう、市民と連携をとっています。



私たちひとりひとりが安心して自分らしく暮らすことができる権利。それが「人権」です。

